

# 社会保障の制度と課題

2単位

担当教員: 李 忻

年金保険制度を中心に、社会保障の諸制度が果たしている所得保障の役割について学ぶ

## 講義目的・到達目標

### 年金保険制度について学ぶ

日本の公的年金保険制度の体系、国民年金保険制度の仕組みと現状、厚生年金保険制度・共済年金保険制度の仕組みと現状、日本の公的年金保険制度の課題について理解することを目標とする。さらに、現在の社会生活において、老齢年金、障害年金を頼りに生活している人々の現状についても紹介し、年金保険制度の課題について理解を深める。

### 社会保障の諸制度と日本の社会経済の変遷について学ぶ

日本は1973年に国民皆保険、皆年金を実現し、本格的に社会保障の諸制度の充実、給付対象者の範囲の拡大、給付レベルの向上などが図られ、福祉国家が実現した。医療保険制度、年金保険制度をはじめとして、どのような社会経済背景の下で、その内容の充実が図られたのか、社会保障の諸制度の充実と社会経済との関係を理解すると共に、少子高齢化及び経済のグローバル化が進んでいる今日の日本においては、どのように社会保障の諸制度の再設計を行うべきか等について理解することを目標とする。

## 講義の構成

### 講義の流れ

まず、担当教員が2日間のスクーリングの構成、目的、達成する目標などについて説明した上で、日本の公的年金保険制度の体系、国民年金保険制度の仕組みと現状、厚生年金保険制度・共済年金保険制度の仕組みと現状等について講義する。ゲスト講義として、「日本の社会経済と社会保障制度の変遷」、「高齢者・障がい者にとっての老齢年金、障害年金の課題」を予定している。これらのテーマに関するグループ討論、グループワークも行う予定である。

1 2日間の講義の目的、講義の達成目標及び講義の進め方を説明する

2 日本の公的年金制度の体系について学ぶ

3 国民年金制度、被用者年金制度について学習する

### 講義のポイント

年金保険制度の部分においては、制度の仕組みが複雑難解であるというイメージが一般的に抱かれているために、社会福祉士国家試験も念頭に置きながら、制度の基本的な仕組み、保険料の納付、免除、受け取る年金の額等について詳細に紹介する予定である。

4 公的年金制度の課題についてグループ討論・グループ発表を通じて学ぶ

5 ゲスト講義及びグループワークを通じて、実践的に「高齢者・障がい者にとっての社会保障の諸制度による生活保障」について学ぶ

6 日本の社会経済の変遷との関係から社会保障制度を理解する

7 レポートによる科目修了試験

## 受講するにあたって

- ①事前学習の  
おすすめ オンデマンド科目「社会保障論」を履修した上での受講を勧める。
- ②参考図書 日本年金機構が発表した資料
- ③評価基準 レポート及び2日間の授業参加によって、成績評価を行う。レポートは、講義で紹介したデータ、概念などを正確に引用しながら、問題意識、論点、根拠、結論、考察を行ったレポートは高く評価される。